

朽葉

第 11・12 合併号
令和 6 年 2 月 発行
表千家栃木県青年部

◆題字は発会を記念して猶有齋宗匠よりご染筆頂きました

【部長挨拶】

表千家栃木県青年部

部長 福田智美



令和五年度より、表千家栃木県青年部の六代目部長をさせていただく福田智美と申します。発会準備委員会より参加させていただいております。今まで一緒にいた方の多くが令和四年度で卒部になりました。月日が流れるのは早いなと感じる一方で、さみしさを感じております。しかし、新役員体制となり、新たな気持ちで活動してまいりたいと思っております。どうぞよろしく願いたします。

長らく続いていたコロナ禍でとまっていた諸行事が、徐々にもどって対面での活動が増えてきました。令和五年度の資格者講習会や一般講習会に参加し、久しぶりに青年部部員や青年部 OBOG にお会いしました。直接会えたことの喜びはひとしおでした。

資格者講習会で小笹宗匠から満月のお話を伺ったその日の夜、夜空を眺めるときに思い出します。その美しさに、心が癒されたことを思い出します。思い返せば、夜空を眺めることも久しぶりだったよう

に感じます。

さて、栃木県青年部は発会式から十年以上経過しました。部員数は当時のおよそ半数を切ってきました。長年青年部の活動に参加している私を感じる青年部のよさは、なんといっても人との縁を築けることだと思います。栃木県青年部の方々の活動は、とても楽しく、和気あいあいとした雰囲気で行ってまいりました。卒部された方々も、青年部時代と変わらず、諸活動の際には快く協力を申し出てくださいます。卒部した後もこうした豊かな縁は続き、つながりが途絶えることはありません。この仲のよさは、栃木県青年部の大きな強みと感じております。

対面での活動を再開することができるようになってきた今、歴代部長・役員が築かれてきた、「栃木県青年部らしさ」を継続していくことの大切さを痛感しております。今後も益子参考館茶会や体験活動、コロナ禍で新たに始まったオンライン講習会など、さまざまな形の活動がありますが、導いてくださりました方々との縁を大切に続けてまいりたいと思います。

さらには、時代に合わせた、青年部としての社会活動の在り方を検討していくことも必要ではないかと感じます。社会が大きく変化していく中で、どのようにすればより多くの皆様と、活動を楽しむことにつながっていくのか考えることで、より多様な活動になっていくのではないかと思います。ご縁をつないでいくことができるこの青年部の強みを生かし、部員の皆様、卒部された皆様と共に作り上げていくことで、より青年部らしい、より充実した活動にしていきたいと考えております。皆様どうぞ、よろしく願いたします。



表千家同門会栃木県支部設立 50 周年 栃木県青年部 10 周年

【前部長退任挨拶】

笹沼隆司

二期四年に渡り、皆様の温かいお支えによって部長という大役を務めさせていただきました。

思い返すと反省することばかりですが、これからは違った形で青年部活動に貢献できるように努めます。心より深く感謝申し上げます。

令和三年度事業報告

【第一回オンライン講演会】

「茶道具としての鎌倉彫」

講師 鎌倉彫二陽堂 三橋鎌幽氏

令和三年十月十七日(日)
オンライン

三橋鎌幽先生をお迎えし、栃木県青年部としてはじめてのオンライン講演会を開催いたしました。

三橋鎌幽先生は鎌倉時代より続く仏師の血筋で鎌倉彫二陽堂の職人です。「禅と茶道と鎌倉彫」をテーマに講演をしていただきました。鎌倉彫は木を彫って漆を塗ったもので、鎌倉時代より八百年の歴史をもつ技法です。明治時代以降、仏師から鎌倉彫へ、更には茶道具へと変容していった歴史を教えていただきました。これからの鎌倉彫は、三橋了和からの伝統を継承しつつ、禅と茶道に育まれた新しい作品の創出を目指し、青の作品を作成されているとの話をいただきました。

鎌倉彫の歴史から作品のスライドを用いて分かりやすくお話をいただき、鎌倉彫について理解を深めた一日となりました。

参加してまいりました！

◆森村 将樹

令和三年度から新しく入部した森村将樹と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。大学時代にお茶を始め、今ではすっかり、自分の人生の中でお茶が占めるウェイトが高くなっています。今回新しく青年部に入部した理由は、お茶という文化をもっと同世代の人とも分かち合いたいと思ったからです。

さて、今回青年部として初めて参加したイベントが三橋鎌幽氏の「茶道具としての鎌倉彫」でした。恥ずかしながら、鎌倉彫についてはほとんど知識が無く、堆朱の技法が使われている仏教と関係があるのかな、という程度の認識でした。しかし、今回の講演で鎌倉彫の初期から現在に至るまでの歴史、茶道具において鎌倉彫が占めている立場等、鎌倉彫について幅広く知ることができました。また、三橋氏ご自身が、鎌倉彫の職人としての立場と、お茶を嗜む立場としての考えを融合的に話されている姿が印象的でした。その中でも、久田宗匠と三橋氏の逸話が特に記憶に残っています。

今回の講演内容は、私自身のお茶に対する考え方に数多くの示唆を与えてくれました。改めて私自身の茶道具への向き合い方を考えてまいります。

後半は青年部の方々との交流会でした。今回のイベントはオンラインでしたが、画面越しに青年部の皆様にお会いできましたこと、嬉しく思います。お茶という文化に敬意を払いながら、皆様と「令和におけるお茶」という文化に貢献していきたいと思っています。お茶という文化は、対面で発展してきた文化ですので、青年部の皆様と早く対面でお会いできることを楽しみにしております。

参加してまいりました！

◆福田 麻祐子

コロナ禍で活動が制限されていた中、待ちわびた青年部の活動の一つでした。ご準備していただいた関係者の皆様、本当にありがとうございます。この場をお借りして感謝申し上げます。私自身、役員でありながら参加できないこともあり、満を持しての参加を嬉しく思います。

三橋鎌幽先生は、朱がとても映える植物紋様の彫が味わい深い堆朱の香合の写真を見せてくださいました。また、三橋さん自身で練り上げた渾身の青を取り入れた、次代を担う作品を惜しげもなく見せていただき、過去から未来へ生きる鎌倉彫を感じ、新鮮でした。

さらに、禅僧寺院から派生し、当時(七百〇八百年前)は仏像だけでなく、仏具や仏舎内装の総合美術プロデューサーの役割を果たしていました。江戸に入ると、生活に付属したものも手掛けるようになり、明治の神仏分離令により仏師の顔だけでなく、茶道の普及とともに茶道具の発展に寄与された歴史を学ぶこともできました。

長年にわたって試行錯誤しながら生み出されてきた歴史的背景や、三橋氏の先祖の方々が怒涛の時代を生き抜き、今につないできたエピソードなど、貴重なお話を拝聴しました。聞く前と後では、お道具の温もりや、作品の意思の感じ方に変化がありました。

その後の歓談の場にご厚意で出席いただき、神奈川県青年部のお話を伺いました。これからさらに青年部間の交流を重ね、互いに発展していくことを祈念せずにはいられない気持ちになりました。ありがとうございました。

令和四年度事業報告

【表千家同門会栃木県支部設立五十周年

表千家栃木県青年部十周年

記念式典・祝賀会

令和四年六月八日(水)
於 日光金谷ホテル (日光市)

【第二十五回日光東照宮献茶式・記念茶会】

令和四年六月九日(木)
於 日光東照宮 (日光市)

【栃木県支部設立五十周年】

【栃木県青年部十周年 記念式典・祝賀会】

梅雨入りしたばかりの緑かがやく日光において、お家元猶有齋千宗左宗匠、渡辺潤宗匠、菅田行芳宗匠、郡知久宗匠のご臨席のもと、支部設立五十周年・青年部十周年記念式典と祝賀会が催されました。

新型コロナウイルスの影響により、二年遅れでの開催となりましたが、県内外から多くのご来賓の方々にご出席いただきました。

記念式典では、船田元支部長の挨拶の後、ご来賓の方々よりご祝辞をいただき、お家元より支部・青年部に記念品が贈呈されました。

祝賀会では、江田蕙青年部顧問のご挨拶と、神奈川県青年部 部長三橋肇様よりご祝辞をいただきました。青年部の歴代部長も参会され、コロナ禍により活動が制限されたため、令和元年十月の青年部関東合同茶会以来のお茶に関する行事とあって、とても和やかな時間となりました。

【第二十五回日光東照宮献茶式・記念茶会】

発会以来、青年部は表番所の呈茶席を担当してまいりましたが、今回は十周年を記念し、副席の客殿大広間を担当させていただくこととなりました。

初めての大使台を前に、しかもこれまでとは全く異なる感染対策を施さなければならぬ状況に、大きな不安を感じておりました。支部役員の先生方のご指導の下、コロナ禍においても茶の湯の雰囲気壊すことなく、且つお客様に安心してお茶を召し上がっていただけるよう、検討と稽古を重ねてまいりました。

今回のお席を担当させていただくにあたり、当初は、青年部員が手作りしたお茶碗や、地元栃木県日光の伝統工芸品である日光彫のお盆を使うことも考えておりました。しかし、コロナ禍により今回は叶わず、寄付きに展示してお客様にご覧いただくこととなりました。

前日の準備には、白鷗大学茶道部員の皆様、当日は歴代部長や OBOG の方々、矢板中央高等学校茶道部員の皆様にもご協力いただき、今私たちにできる精一杯のおもてなしをさせていただきました。

日光東照宮をはじめ、ご指導いただきました同門会の先生方、学校茶道関係の皆様に御礼申し上げます。



於 客殿大広間

副席	掛物	而妙齋筆 大扇子 寿山青不老 同箱書付
花入	即中齋好 南紀檜手付籠 同箱書付	季のもの
香合	日光東照宮古材 葵	即中齋在判 同箱書付 漆園作
釜	車軸	天命二十三代 江田 蕙作
而妙齋好立札卓 同箱書付	日光東照宮客殿造営二使用ノ杉並木古材ヲ以テ	小兵衛作
水指	黄交趾 平 牡丹ノ絵 即中齋箱書付	即全造
茶器	波蒔絵 中棗 即中齋在判	柳菴作
茶碗	寛入作 赤 銘生産湯ノ井 即中齋箱書付	即全造
替杓	即中齋筆 橋ノ絵 平 同箱書付	即全造
建水	即中齋作 共筒 銘瑞雲 同箱書付	漆園作
蓋置	サハリ写 而妙齋箱書付	香齋作
菓子器	東照宮什器 三方	岡塾製
菓子	御紋菓 紅白	松華園詰
茶	御好 千栄の白	

参加してまいりました！

◆横尾 麻紀子

小雨の降る少し肌寒い六月上旬に、表千家栃木県青年部十周年記念茶会が開催され、お手伝いとして参加させていただきました。二年間延期されての開催だったこともあり、部員にとって念願の茶会でした。

私は久しぶりのお手伝いでしたが、支部の先生方をはじめ、部員の方々が優しく指導してくださり、安心して当日を迎えることができました。

今回私は、茶碗の消毒担当でした。新型コロナウイルス感染症対策のため、熱湯消毒という方法を初めて行いました。このような状況下でも、なんとか茶会を成功させようと、部員全員で問題点を話し合いながら一致団結して当日を迎えました。

当日はお客様が楽しそうにされている様子を拝見して、無事に開催できてよかったと安堵する気持ちと、皆でこの状況の中、茶会を成功させたという達成感がありました。

青年部十周年という記念すべき節目に、貴重な経験をさせていただき、関係の皆様により感謝申し上げます。



参加してまいりました！

◆大島 光信

この度は、栃木県青年部十周年という記念すべき節目でのお茶席を経験させていただき、感謝申し上げます。

自分は大学に入学して初めてお茶の世界に出会いました。白鷗大学茶道部員として、日光東照宮献茶式のお手伝いをさせていただいた時は、すべてが初めてのことで、必死に動いていたことが懐かしく思い出されます。

「素敵なご縁が素敵なご縁を呼ぶ」茶道に出会い今に至るまで、こうしてお茶を続けることができたのは、先生はじめ青年部の皆様とのご縁のおかげだと思えます。「お茶の力はすごい！」とこの十年を振り返り、改めて実感しております。

コロナ禍、人が集いお茶会を開催することが難しい状況が続いておりましたが、マスクを外し、亭主も客も顔を合わせる機会が増えてまいりました。これからも、亭主と客が共に楽しむ栃木県青年部のお茶会の手伝いをさせていただくことを楽しみにしております。

参加してまいりました！

◆矢板中央高等学校茶道部

部長 郡司 妃野

私たち矢板中央高等学校の茶道部は、六月九日に日光東照宮で行われた献茶式に、お運びのお手伝いとして参加しました。この様な機会を得られたこと、また青年部の皆様にお世話になりましたことに感謝申し上げます。

さて、今回は初めてお稽古以外でお茶を振る舞う機会。不安もありましたが、たくさんのことを学ぶことができました。

一つ目は、物事を円滑に進行するための連携の大切さです。時間が決められた中で、青年部のみなさんと協力しあって運営に当たることができました。

二つ目は、茶道という日本文化の素晴らしさです。お茶やお菓子を通して、お客様とのコミュニケーションがあり、掛け軸やお茶碗などを通じて茶道の歴史に触れることができます。着物を着ておられる方もいて、改めて日本文化の良さに気づくことができました。

高校に入って茶道部に入部し、この献茶式に参加させていただいたことは私にとって大きな意味があったと思っています。茶道部としての活動期間は残りわずかですが、これからも茶道を通して、たくさんの方のことを学んでいきたいです。



【秋の益子散策】

令和四年十一月二十七日(日)

於 益子参考館

益子陶芸美術館

コロナ禍以前、ご縁をいただき毎年茶会を開催していた益子参考館様に改めて見学に伺いました。特筆すべきは、修復中の長屋門をつぶさに見学できたこと。長屋門に轆轤場がある構造は全国的にも例が無いとのこと、濱田庄司氏の盟友であるバーナード・リーチ氏が過ごした部屋や、足場に登り屋根葺き途中の様子を見学した貴重なひとときでした。

また、益子陶芸美術館では、漆芸家・池田巖氏の竹を材にした茶道具や作品の展示を見学しました。竹の節や繊維質を「制約」ではなく「可能性」として扱われている姿に感銘を受けました。

関係者の皆様、ありがとうございました。



参加してまいりました！

◆中沼 一恵

親子で初めて、青年部の体験事業に参加させていただきました。益子参考館では、茅葺き長屋門の屋根の修復作業や、バーナード・リーチの工房兼住居の見学しながらの説明の中で、古民家再生の重要性を知ることができました。

また、「足場を登る」という貴重な体験もさせていただき、感謝しております。

広い敷地に古民家や石蔵、様々な国の蒐集品など、たくさんさんの素敵なのが展示されており、たいへん魅力的な場所でした。実りある、秋の充実した時間となりました。

【第二回オンライン講演会】

「学問と茶事 創意工夫の話」

講師 遠山記念館学芸課長 依田徹氏

令和五年二月十九日(日)
オンライン

依田先生は、茶の湯文化の研究者として精力的に活動される傍ら、自宅マંションにて毎月茶事を催されています。今回は、思索と実践の中で培われた依田先生ならではの視点で、具体的なエピソード等を交えたお話をいただきました。

ご自身のマંションを、茶室としてどのように使い茶事をしているのか、学際的な説明を交えて楽しく解説いただきました。

大切なのは、出来ることをできる範囲で実践してみること。青年部員と同世代の依田先生のお話は、参加者の皆様にたいへんよい刺激になったのではないかと思います。

参加してまいりました！

◆野村 美和子

講師の依田先生の実際の茶事の様子を多くの写真を見せて詳しく解説していただきました。

例えば、お部屋に床の間がなければ、二月堂机を代用すること。

鎌倉時代にはまだ床の間がなく、その時代の絵巻物を見ると、二月堂机の方が床の間より古い起源をもつということが読み解けるそうです。創意工夫の面白さ、楽しさ、「胸の覚悟」を教えてくださいました。

心に残ったことは、「茶事を行うために一番大切なものは、お客様である。気心の知れた茶友ほど、得難いものはない。」と伺ったことです。

今回の研修で、青年部の皆様と貴重な研修を受けられましたこと、大変ありがたく、嬉しく思います。依田先生はじめ青年部の皆様に心から感謝申し上げます。

参加してまいりました！

◆青柳 瑛右子

初めてオンライン講演会に参加させていただきました。

講師の依田徹先生は、学生時代から茶道を始められたこと。お茶室やお道具にこだわらず、自宅にある物を使ってお茶事をされたこと。茶道への考え方や遠山記念館についても写真を見ながらお話されました。

私は、形式などにとらわれず、気軽にお茶事が出来る事。例えば「茶碗がなければ、どんぶりでもよい」と先生がおっしゃったことに心が動かされました。茶人としての心得、お道具の鑑賞の仕方なども学ばせていただき、これからの稽古に生かしていければと思っています。

また、今回の講演会を通じて、オンラインでの利便性も実感しました。

依田徹先生が学芸課長をされている埼玉県遠山記念館にも訪れてみたいと思っています。

令和五年度事業報告

表千家栃木県青年部総会

令和五年五月七日
オンライン決議

茶の湯文化にふれる市民講座

※手伝い中止となりました。

益子参考館茶会

令和五年十月十五日(日)
於 益子参考館

表千家同門会栃木県支部初釜 手伝い

令和六年一月二十八日(日)
於 宇都宮東武ホテルグランデ

和菓子作り講座

令和六年二月三日(土)
於 とちぎ福祉プラザ

※青年部事業の申込について

各事業の詳細につきましては、
申込開始時期に各部員へ
葉書が送付されます。

詳細をご覧いただき、
担当者へメールもしくは
電話にて直接お申込ください。

※賛助会員について

総会で賛助会員の制度が成立されました。

卒部された方のみならず、賛同いただける方は、
ぜひ、ご応募くださいますようお願いいたします。



竹灯りに照らされた参考館

青年部役員一同

青年部員として活動しませんか？

私たちと一緒に、表千家栃木県青年部員として活動しませんか？

入会希望の方は、教授者の先生、または同門会栃木県支部事務所へお問合わせください。

また、青年部役員も募集しております。青年部役員として青年部の活動に携わりたい方は、師事する先生にご相談の上、下記事務局までお問合わせ下さい。

青年部員の方へ

令和3年度末をもちまして、昭和52年3月31日以前にお生まれになった3名の方が卒部されました。

また、令和4年度末には3名の方が卒部されました。今までのご協力に心から感謝申し上げます。

今後とも青年部のOBOGとして、ご指導の程よろしく願いいたします。

■住所・氏名の変更等について

同門会栃木県支部内の事務所まで、葉書に変更内容を記載し、ご提出ください。同門会に入会している方は、同門会へのお届けに加えて、青年部にも変更内容をお知らせくださいますようお願い致します。

■年会費の納入について

令和5年度の納入期限は、3月8日となっております。

お忘れの場合は、年会費3,000円をお振込みください。

※振込の際、お名前の前に数字で「5」と入れてください。

例：5ヤマダタロウ

お問い合わせ・入会申し込み

〒323-0811

栃木県小山市大字犬塚18-2 山本茂美方

表千家同門会栃木県支部内

表千家栃木県青年部

電話 070-2902-2317

【年会費振込先】

足利銀行 一条町支店(104)

普通 3559181

表千家栃木県青年部 代表 福田智美

(オモテセンケトチケンセイネンブ ダイゴウ フクダトモミ)

【青年部 Instagram】

<https://www.instagram.com/tochiyo.seinen/>

【青年部メールアドレス】

tochiyou.seinen@gmail.com



◇編集後記◇

枅葉第11・12合併号をご覧いただきありがとうございます。困難に負けず、活動を続けてくださった先輩方のおかげで、今回の枅葉を発行することができました。

「ご縁」を多く感じた本号。この先も、部員の皆様とのご縁を大切に、様々な活動を共有できれば嬉しく思います。

活動のご要望等、青年部メールまでお寄せください。感染症も落ち着きを見せ、様々な場所で、以前の賑わいを感じるようになりました。より多くの方とお顔を合わせながら、一服のお茶を共にいただく日が楽しみです。(稚)